

4-1-6-8 皮膚科

1. 概要と特色

1965年開院した我が国初の小児専門病院；国立小児病院からの歴史を含めると、当科は41年間にわたる小児皮膚科医療を行ってきた。その診療経験と症例の統計をもとに、国内において最も専門性の高い医療を提供している。

最近、皮膚科を受診する小児患者は減少し、反対に乳児検診を機に、皮膚疾患を主訴にして小児科を受診する患者が増加している。皮膚科医にとり、小児皮膚疾患を診察する機会が減少すれば、診断能力は低下する。一方で、小児科医は皮膚科的研修を受けることがないのでその診療能力は低いと言わざるをえない。それが我が国の憂慮すべき現状である中で、われわれは小児皮膚科専門領域を扱う立場で診療を行い、我が国の小児皮膚科領域のレベルアップをはかるべく、努めている。以下の表は、当センターホームページに掲載している一般向け診療案内の一部抜粋であるが、われわれの活動内容をわかりやすく述べたものとして記した。

2. 外来診療

アトピー性皮膚炎などの湿疹・皮膚炎	診断 アレルギー検査 外用療法 スキンケア指導
あざ（血管腫、太田母斑、異所性蒙古斑など）	赤ちゃんから安全なレーザー治療 症候群などの全身診断と治療
足や手のほくろ	悪性か良性かの診断 炭酸ガスレーザー治療
治りにくい円形脱毛（全頭脱毛など）、毛髪疾患 尋常性白斑	SADBEなどの 局所免疫療法 紫外線治療など
やけど	早期治癒を目的に 瘢痕を予防
イボ、水イボなどのウイルス感染症	早期治癒を目的に 小さいお子さんのための 無痛の治療
にきび しみ	診断 治療 安全なケミカルピーリング
角化症、魚鱗癬	診断、検査、治療
その他の遺伝性、先天性疾患	診断、治療、遺伝子検査、遺伝相談
その他小児の皮膚疾患のすべて	腫瘍の小手術 病理診断など

3. 入院診療

アトピー性皮膚炎で自宅では治療ができない場合

全身状態、栄養状態が悪い場合の改善

全身麻酔が必要な場合の管理